

令和7年度環境とやま県民会議 事業計画

1 活動方針及び統一活動

私たちは、廃棄物などの身近な問題から、地球温暖化やプラスチックごみによる海洋汚染などの地球的規模の問題に至るまで、複雑かつ多様な環境問題に直面している。これらの環境問題に適切に対応し、本県の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが、様々な環境問題を自分の問題として捉え、自らライフスタイルや事業活動のあり方を見直すなど、問題の解決に向けて行動を始め、その輪を広げていくことが求められている。

こうしたことから、当県民会議は、「脱炭素・循環型社会づくりの推進」及び「環境教育・環境保全活動の推進」を柱とし、県民、事業者、民間団体、行政が情報を共有し、一体となって各事業を展開していく。

とりわけ、富山県が目標とする「水と緑に恵まれた環境が保全・創造され、人と自然が共生しながら、持続可能でウェルビーイング（真の幸せ）が向上した社会」の実現に向けて、「デコ活」の普及啓発や「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大、「とやま環境フェア」など各種イベントの開催・参加を推進し、県民のエコライフの定着・拡大を図ることとする。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、「富山県カーボンニュートラル戦略」に基づく取組みの推進やプラスチック資源循環、食品ロス削減をはじめとする資源の効率的な利用の促進など、持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進する。

2 事業内容

（1）脱炭素・循環型社会づくりの推進

＜脱炭素社会づくり＞

① 「デコ活」の周知及び普及啓発

国民運動「デコ活」の脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像や10年後の絵姿などをイベント等を通じて、県民、団体、事業者等に周知及び普及啓発を行う。

② 「デコ活」プラスワンアクションの検討・実践

構成団体が個々に脱炭素につながる環境に配慮した行動を1つ検討し、目標を定めて実践することで「デコ活」を「意識」から「実践」につなげるとともに、県民総ぐるみで取り組む機運を高める。

③ カーボンニュートラルの普及促進

カーボンニュートラル戦略の目標達成に向け、各種補助制度の周知活動及び脱炭素型ライフスタイルの普及啓発活動を実施する。

県と15市町村が共同運営するポータルサイトにおいて、県民や事業者を対象に、カーボンニュートラルの具体的な取組み方法や国・県内自治体の支援制度等を情報発信する。

参考：各種補助制度

- ・とやま省エネ家電購入応援キャンペーン
(省エネ性能の高い家電・機器への買い換えを促進する。)

- ・富山型高性能住宅推進事業費補助金
(カーボンニュートラル等の実現に向け、高性能住宅の工事費等を支援する。)
- ・再生可能エネルギー導入促進補助金
(自家消費型太陽光発電設備や再エネ熱利用設備の導入を支援する。)
- ・富山県E V導入支援事業費補助金
(E V (電気自動車) の普及拡大に向け、個人・事業者によるE V導入や商業施設等での充電設備の導入を支援する。)
- ・富山県燃料電池車両普及促進事業費補助金
(水素社会の実現を図るため、個人・事業者による燃料電池車両及び水素充填設備の導入を支援する。)

④ エコドライブの推進

二酸化炭素排出量の削減だけでなく、燃費向上や交通安全にもつながるエコドライブについて継続した実践を促すため、各種イベント等において普及啓発を行う。

併せて、エコドライブとやま推進協議会が募集しているエコドライブ宣言に協力し、エコドライブ実践者の拡大を図る。

⑤ 宅配便の「再配達削減」の普及促進

近年の通信販売市場の拡大に伴い、二酸化炭素排出量の増加などで社会問題になっている宅配便の再配達を削減するため、職場受取事業所の募集・認定や学生・共働き世代等をターゲットに合わせた置き配などの多様な受取り方法の活用等を情報発信し、県民、事業者、行政が連携協力して取組みを推進する。

⑥ 「新しい生活様式」を踏まえた公共交通利用をテーマとした県民運動への参加

鉄軌道の施設整備及びバス路線の運航維持等を支援するなど、公共交通の維持活性化・利用促進に向けた取組みを推進する。

⑦ クールビズ、ウォームビズ及び熱中症防止の実践及び啓発

構成団体では、日々の気温や仕事環境等に応じて、適正な温度での空調使用と各自の判断による快適で働きやすい服装を促す「クールビズ」、「ウォームビズ」を実践するとともに、屋内及び屋外での「熱中症」防止に向けたちらし等を配布し、これらの取組みを実践するとともに県民等への普及啓発を行う。

⑧ 企業の脱炭素化の推進

中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション 21」制度の普及を図るとともに企業の脱炭素化を推進するためのセミナー等の開催、省エネルギー診断等の脱炭素経営の促進を図る。

＜循環型社会づくり＞

① とやまエコ・ストア制度普及・拡大

とやまエコ・ストア制度登録事業者が県民と協働で行う環境配慮行動を促進するとともに、新たに「エコ・ストア」としてレジ袋削減、3R、プラスチックトレイの削減・転換等に取り組む事業者を引き続き募集・登録し、その活動を支援するなど、「とやまエコ・ストア制度」のさらなる普及・拡大を図り、県民のエコライフの定着・拡大を推進する。

② 食ロスゼロアクション推進

食品ロス削減の取組みをより一層加速するため、令和7年6月に「富山県食品ロス削減推進計画」の改定を行い、SNS広告等を通じて食品ロスの削減につながる取組みの普及・啓発を実施する。

③ いつでも、どこでもリサイクル促進事業

民間事業者等による資源物の回収拠点を認定し、住民に啓発することで、資源物回収量のさらなる増加を促進し、再生利用率の向上を図る。

④ 地域資源循環理解促進事業

資源循環に関する国の最新の動向、県内企業の取組事例の紹介などを通して、サーキュラーエコノミーに対する県民の理解を促進する。

(2) 環境教育・環境保全活動の推進

① エコライフ・イベントの実施

地域での取組みを推進するため、県内10市において、地球温暖化防止やごみゼロなどのテーマに関する、「エコライフ・イベント」を実施する。また、構成団体ではブース出展等に積極的に参加し、エコライフの普及を図る。

② 環境保全・環境教育に関する活動支援事業

(公財)とやま環境財団に環境保全相談室を設置し、各種相談に対応するとともに、県内で行われている様々な環境保全・環境教育活動について、ウェブサイトを通じた情報を発信し、環境保全・環境教育活動の拡大を図る。

また、エコライフの実践を促進するための普及啓発資機材の整備により活動支援の充実を図る。

③ とやま環境未来チャレンジ事業

10歳の児童が、地球温暖化や3R、食品ロス等の環境問題を学び、目標を決めて家族とともに家庭での対策を実践・自己評価する取組みを通じて、脱炭素につながる新しい生活スタイル「デコ活」の促進を図る。

また、デジタル化教材を活用し、事業の効率化や取組みの拡大を図る。

④ 地下水の守り人の活動支援

地下水保全活動を担う人材を「地下水の守り人」として登録するとともに、その活動を支援するため、講習会の開催や活動情報の発信、資機材の貸出しなどを実施する。

⑤ スターウォッチング推進事業

大気汚染のない清澄な大気の大切さや街の明かりによる光害について理解を深めるとともに、身近な環境保全活動の実践を推進するため、富岩運河環水公園で星空観察会を開催する。

⑥ はじめてのエコライフ教室の実施

幼児期から家族ぐるみでエコライフの理解・実践・定着を図ることを目的として、幼稚園・保育所等に地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣し授業を行う「はじめてのエコライフ教室」を実施する。

(3) その他

① とやま環境フェアの開催

水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を創造するため、循環型・脱炭素社会や自然共生等をテーマとした各種展示や実演、発表等を行い、環境保全について啓発を行う。

② 環境とやま県民会議啓発イベントの開催

脱炭素社会づくり・循環型社会づくりを推進するため、功労者の表彰や取組事例の紹介等を行う啓発イベントを開催する。

③ 構成団体間の連携・協力

事務局は、構成団体が独自で実施している取組み・事業内容（脱炭素・循環型社会づくり、環境教育・環境保全活動）を把握し、それぞれ情報共有するとともに、団体間の連携・協力体制の構築に努める。